

令和元年度 危機管理部 重点施策の実施結果

達成
状況

- S … 目標を上回る結果となった
- A … 目標通り達成した
- B … 達成したが課題が残っている
- C … 達成できなかった

総括	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度は台風19号による被害が市内で発生し避難所の運営や情報共有の方法など課題も出るなか、地域と協議し避難地区の見直しや水防資機材の充実を図りました。 ・ 地区防災組織との連携については地区防災連絡会や避難所運営委員会による地域の防災体制が確立され、各地区へ出向き情報共有や意見交換を行いました。地域の協力により台風19号での被害状況についてとりまとめ、課題については更に地域の意見を聞きながら市と連携した防災体制が整えられるよう進めていきます。 ・ 風水害の備えとしてマイタイムラインの作成について出前行政講座などにより周知に努めました。
-----------	--

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
1	地区防災組織への支援と連携	地区防災組織及び避難所運営組織の活動を支援するとともに、平時よりの訓練、連携に取り組みます。	11地区の連絡会と情報の共有と調整を図るため、年5回の定期的な全体会を開催します。	A	市と地区防災連絡会及び防災指導員との連絡会を5回開催することで、防災に関する市の考え方や訓練内容などを地区防災会等と情報共有することができました。また、台風19号の教訓から、各地区で発生した危険な箇所についての意見や情報共有が図られました。
2	自主防災組織の防災資機材の購入支援	自主防災組織の防災資機材の購入を助成し、地域の防災力の向上を目指します。	令和2年3月末までに自主防災組織が保有する防災資機材の整備率を高めるため、自主防災組織が購入する防災資機材に対する交付金を支給します。	A	自主防災会が整備する防災資機材の整備基準を定めており、最優先で整備を求めている救出救助用資機材の整備率について、昨年度比で約12.5%上昇し、R元年度末の整備率79.2%となりました。また、台風19号による被害を踏まえ、水害対策に必要な防災資機材について追加要望を行い補助金を交付しました。 (H30 : 66.7%、約5%の上昇) (R元 : 79.2%、約12.5%の上昇)

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
3	家庭における災害への備えの推奨と啓発活動	<p>各家庭における非常用食料・飲料水・携帯トイレ等の備蓄を推奨するとともに、感震ブレーカーの設置や家具固定など家庭の災害対策を支援します。</p> <p>また、防災知識の普及や啓発活動に取り組めます。</p>	<p>平成30年度に作成した災害への備えを解説したリーフレットを活用し、出前行政講座、要配慮者への啓発を実施します。</p> <p>また、防災に関する講演会の開催（3回）、危機管理ニュースの発行（4回）を行います。</p>	A	<p>出前行政講座を32回実施し、防災に関する備蓄物品等及び家庭内の災害対策に関して、多くの市民へ防災知識の普及を図ることができました。</p> <p>また、防災に関する講演会を3回、危機管理ニュースを5回発行し、地域防災力の向上を図り、目標を達成することができました。</p> <p>危機管理ニュースでは風水害の備えとしてマイタイムラインの作成を周知しました。</p>